

平成 28 年 2 月期

## 横浜市感染症発生動向調査委員会報告

平成 28 年 2 月 25 日  
横浜市健康福祉局健康安全課  
TEL045(671)2463  
横浜市衛生研究所感染症・疫学情報課  
TEL045(370)9237

### 今月のトピックス

- Ⅰ インフルエンザ流行警報発令中です(警報発令基準値:定点あたり 30.00)。
- Ⅰ 第 7 週では、インフルエンザの流行の主体は B 型です。
- Ⅰ AH1pdm09 による、インフルエンザ脳症の報告が第 3 週にありました。

### 全数把握の対象

#### [2 月期に報告された全数把握疾患]

細菌性赤痢	1 件	急性脳炎	1 件
A 型肝炎	2 件	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1 件
デング熱	1 件	後天性免疫不全症候群(HIV 感染症を含む)	2 件
レジオネラ症	8 件	侵襲性肺炎球菌感染症	10 件
アメーバ赤痢	2 件	梅毒	4 件
カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	3 件		

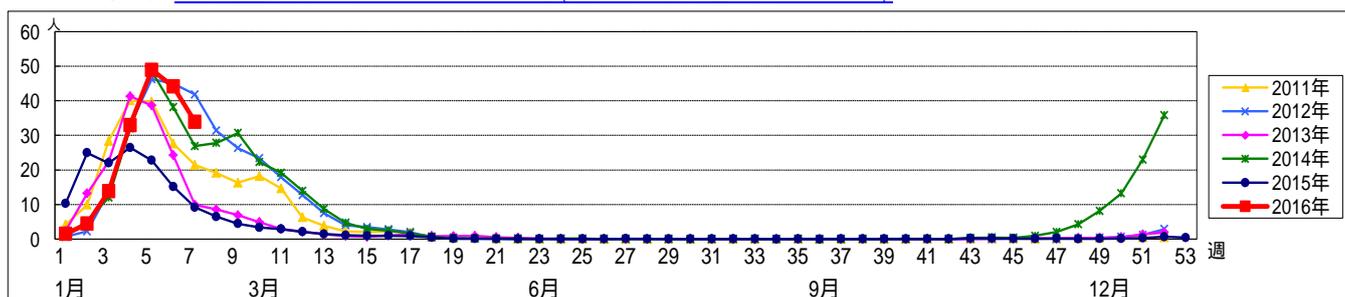
- 1 細菌性赤痢: *Shigella sonnei*(D 群)の報告が 1 件あり、海外(タイ)での経口感染が推定されています。
- 2 A 型肝炎: 2 件の報告があり、1 件は海外(インドシア)での経口感染、もう 1 件は感染経路感染地域不明でした。
- 3 デング熱: 1 件の報告があり、海外(カンボジア)での感染が推定されています。
- 4 レジオネラ症: 肺炎型 8 件の報告がありましたが、現在感染経路等調査中です。
- 5 アメーバ赤痢: 腸管アメーバ症 2 件の報告があり、1 件は性的接触による感染で、感染地域不明。もう 1 件は国内での感染で感染経路等不明でした。
- 6 カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症: 3 件の報告がありました。
- 7 急性脳炎: 1 件の 10 歳代の報告が第 3 週にありました。インフルエンザウイルス AH1pdm09 が検出されています。
- 8 劇症型溶血性レンサ球菌感染症: 1 件の 80 歳代の報告があり、創傷感染が推定されています。
- 9 後天性免疫不全症候群(HIV 感染症を含む): 無症状病原体保有者 2 件の報告がありました。どちらも国内での異性間性的接触による感染が推定されています。
- 10 侵襲性肺炎球菌感染症: 成人例 10 件の報告があり、そのうち 1 件では予防接種歴(約 1 年前)が確認できましたが、他はすべて確認できませんでした。
- 11 梅毒: 4 件の報告(早期顕症梅毒 期 2 件、早期顕症梅毒 期 2 件)があり、すべて国内感染例でした。感染経路では、異性間性的接触 1 件、性的接触(性別不明)2 件、感染経路等不明 1 件でした。

## 定点把握の対象

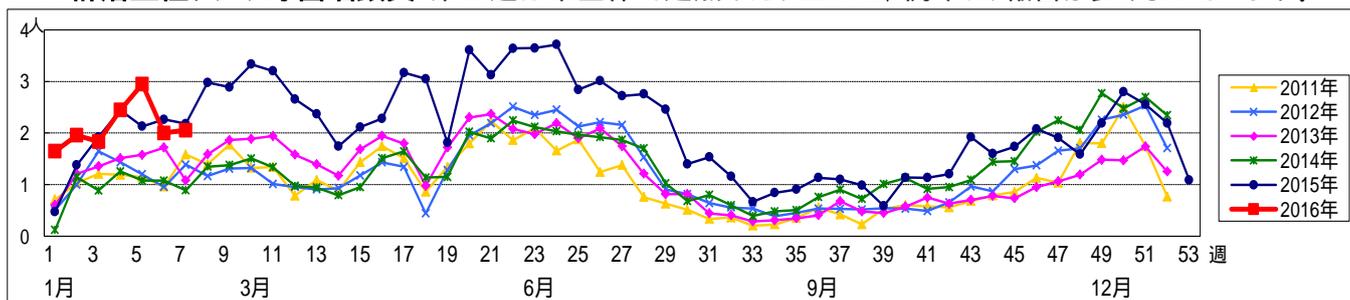
平成 28 年 週 - 月日対照表	
第 4 週	1 月 25 日 ~ 31 日
第 5 週	2 月 1 日 ~ 7 日
第 6 週	2 月 8 日 ~ 14 日
第 7 週	2 月 15 日 ~ 21 日

- 1 **インフルエンザ**: 第 4 週に市全体で、警報発令基準値である定点あたり 30.00 を上回り、流行警報が発令されました。その後第 5 週 48.93 をピークに第 7 週 33.90 と減少傾向です。ただ、依然として報告が多い状態や、入院例の報告が続いており、引き続き注意が必要です。医療機関における迅速診断キットの結果では、いままで多かった A 型に代わり、B 型の報告の方が多くなりました。市内で検出されたウイルスでも、第 7 週は B 型 (Victoria 系統) 4 件、B 型 (山形系統) 3 件、AH1pdm09 型 4 件と、B 型が A 型を上回っていました。これからは、流行の主流は B 型が占めるものと思われます。横浜市衛生研究所で実施したワクチン株との抗原性解析では、解析した AH1pdm09 株と B 型 (Victoria 系統) 株はすべてワクチン株と類似していました。今後もインフルエンザの流行が継続すると考えられるため、手洗い等の感染予防や早期受診などの重症化予防対策が重要です。

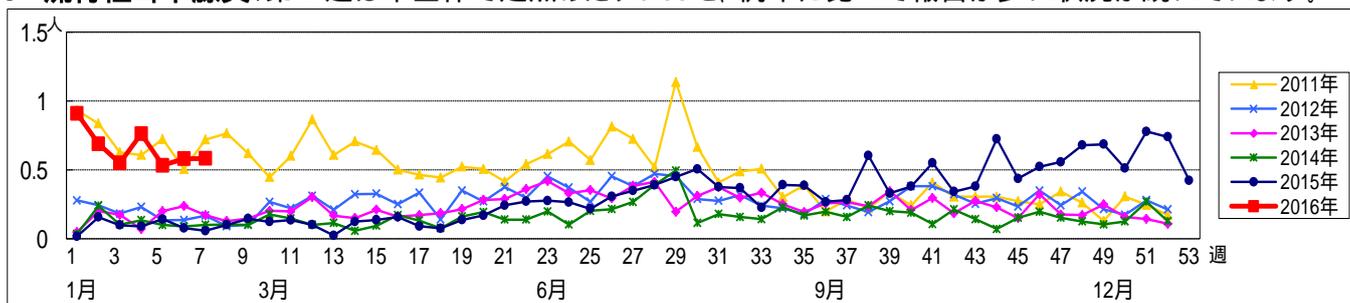
参考: [感染症臨時情報「インフルエンザ」](#) (横浜市感染症情報センター)



- 2 **A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎**: 第 7 週は市全体で定点あたり 2.05 と、例年より報告が多くなっています。



- 3 **流行性耳下腺炎**: 第 7 週は市全体で定点あたり 0.58 と、例年に比べて報告が多い状況が続いています。



- 4 **性感染症**: 1 月は、性器クラミジア感染症が男性が 17 件、女性が 18 件でした。性器ヘルペス感染症は男性が 5 件、女性が 5 件です。尖圭コンジローマは男性 4 件、女性が 4 件でした。淋菌感染症は男性が 11 件、女性が 3 件でした。
- 5 **基幹定点週報**: マイコプラズマ肺炎は第 4 週 0.67、第 5 週 0.25、第 6 週 1.50、第 7 週 0.00 と報告されています。感染性胃腸炎 (ロタウイルスによるもの) は第 4 週 0.67、第 5 週 0.00、第 6 週 0.50、第 7 週 0.00 と報告されています。細菌性髄膜炎、無菌性髄膜炎、クラミジア肺炎の報告はありませんでした。
- 6 **基幹定点月報**: 1 月はメチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症 4 件の報告がありました。ペニシリン耐性肺炎球菌感染症、薬剤耐性緑膿菌感染症の報告はありませんでした。

この報告とデータの詳細については、下記に掲載されていますので、ご参照ください。  
横浜市衛生研究所ホームページ URL: <http://www.city.yokohama.lg.jp/kenko/eiken/>